



川島郁子
KAWASHIMA IKUKO

音楽活動も子育ても、 自らの経験がひとつも無駄に ならないDJであること。

音楽の世界から勢いでDJの道へ

デビューは学生のころ。早いですがね。きっかけは、音楽でした。当時はバンドを組んでライブ活動に熱中していて、ライブをブックキングしてくれていた事務所と縁があったんです。

あるとき、某FMの開局番組でしゃべってみないか、というお話をいただき、気軽な気持ちで引き受けました。そのころはFM全盛期。背伸びして聴いていた番組のDJに憧れる想いもあったので、恐いもの知らずでラジオの世界に飛び込んだんですね。あのころは本当に勢いづいてました。若氣、

でしょうか(笑)。大学とバンドとDJを並行しつつ、卒業後連日キングレコードからソロデビューが叶い、東京を拠点に北海道や京都に通う毎日でした。とにかく楽しくて、自分自身の可能性を信じていたんです。世界で一番歌が上手い！って(笑)。武道館で歌ってる自分が簡単に想像できず、自分は今ほそはいきませんが、あの思い込みと自信があったからこそ、ここまでやってこられたんだなと思っています。

4月18日、大阪生まれ。神戸女学院在学中にDJデビュー。学生時代はバンド活動(ヴォーカル担当)に熱心で、音楽好きは番組づくりにも影響を与えてきた。20代半ばでフリーランスに。出産・育児のため2年間現場を離れたが、母としての新たな価値観を得て堂々の復帰を果たす。現在、大阪自由学院で講師の顔も持つ。

勇気と覚悟を持って現場に復帰

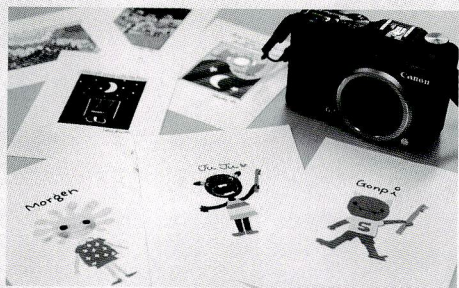
DJの世界では音楽の知識に助けられ、ライブやキャンペーンではDJとして培ったおしゃべりに助けられ、パランスよく両立できていましたね。コネクションも広がり、事務所のサポートなしで挑戦してみたいという思いから独立したのが25歳のころ。気づけば、「C's NAVIGATION」も10年以上続くαステーションの「週末の朝の顔」になりました。

実は、妊娠を機に引退を決めたんですけど、それから産休後の復帰には、正直プレッシャーを感じていました。満足いく幕引きだったので、きれいにラッピングし終えたものをもう一度開けるのには勇気と覚悟が必要だったんです。それでもラジオがなくて寂しく感じていたのも事実だったので、ママになったことで伝えられることも膨らむのでは、と考えて、マイクの前に戻ってきました。

音楽と空気感を大切にしながら番組を

ママになって子どもの話もしますが、リスナーさんの中には、あえてお母さんの道を選んでもない人もいます。その人たちが嫌な気分にならないよう、でもママさんたちが日々思っていることや子育てをサポートできる情報も伝えたい。私だから発信できるというところもあると思うんです。今後はそんな葛藤とも向き合いながら、DJとしてはもちろん人間としても、もっとグローバルな見方ができれば、と。また、今は情報メインの番組を担当していますが、音楽とトークがひとつの流れをつくるような番組づくりがしたいですね。何より、AMにないFMの色を大事にしたいんです。夜中のディープな時間帯に、ワイン片手にジャズやボサノバを流すような、聴いてくれる人たちを酔わせる、大人の番組ができる、というですね。

KAWASHIMA IKUKO



DJ's Favorite Item

自称「αのカメラ部(非公認)」の部員だが、「まだ、立ち上がったばかりで活動してないんですよ」とのこと。データの大半が、愛娘の写真。絵を描くのも好きで、「つい夢中になって育児放棄しそうになってしまう(笑)」くらい。基本、手描きだが、最近ではパソコンソフトを使って作成することも。写真もイラストやコメントを加えてアルバムづくりを楽しんでいる



C's NAVIGATION

毎週土曜9:00~11:00

時を越えて愛されるポップスを中心に、旅、書籍、映画、グルメの他、季節の話題など、週末のお役立ち情報を盛り込んでお届け。母親ならではのやさしい視点、そしてウンウンとうなずける味のあるトークが楽しめる長寿番組。